

学校経営計画 (R7)

栃木市立寺尾中学校

人間尊重の基本理念に立ち、豊かな心と個性を持ち、自主性・創造性を発揮して、たくましく生きる生徒の育成に努める。

学校づくりスローガン：だれ一人欠けてはならない大切な仲間『寺中丸』

めざす学校像

- ・ 温かな雰囲気の中で豊かな心を育てる学校
- ・ 知力、体力を磨き合い、互いを高めあう学校
- ・ 生徒や保護者、地域から信頼される学校

めざす生徒像

- ・ 優しい気持ちで人に寄り添える生徒
- ・ 意欲を持ち、粘り強く学習に取り組む生徒
- ・ 地域とのつながりを大切にする生徒

めざす教職員像

- ・ 学校（生徒）や地域のために協働的に働く教職員
- ・ 教育的愛情をもち、教育の専門家としての資質の向上に常に努める教職員
- ・ 生徒や保護者、地域から信頼される教職員



学校経営方針 について

(1) 学校経営の考え方

令和8年度栃木北中学校統合への準備を計画的に進めつつ、あらゆる場面で小規模校であることを強みと捉え、生徒一人ひとりに寄り添う教育活動を展開するとともに、小規模校の特性を生かした生徒の実態に合わせた教育実践を推進していく。

また、寺尾地域の良さを最大限に生かして、地域・家庭・学校の三者が一体となった教育活動を実践することは重要である。これまで以上に「地域と共に歩む学校づくり」を推進し、地域との連携により、地域を愛し、地域に貢献できる人材の育成や「地域や保護者に信頼される学校」を目指していきたい。

生徒には、学校づくりスローガン「だれ一人欠けてはならない大切な仲間『寺中丸』最後の航海の一員であることを意識させることで学校への所属感や連帯感を培い、生徒の主体性を重視した活動を実施したい。また、互いのよさを認め合う温かな雰囲気を学校全体に醸成し、だれもが安心して生活できる学校づくりの基盤としたい。

これらのことを通して、本校の良さを実感させ、本校生であることの自信と誇りを実感させる取組を推進していきたい。

(2) 学校経営方針

- (1) 小規模校の特性を強みと捉え、全ての場面において生徒一人一人に寄り添う教育活動を展開するとともに、小規模校の特性を生かした教育実践を推進する。
- (2) 寺尾地域の特性を生かして「地域と共に歩む学校づくり」を推進し、学校、家庭、地域の三者が一体となった教育活動を展開することで、地域を愛し、地域を大切に持つ心を持った生徒を育てる。
- (3) 教職員相互の温かな人間関係の下、学力の向上を目指して日々授業改善に努め、同僚性を高めながら共に授業力の向上に努める。
- (4) 学校づくりスローガン「だれ一人欠けてはならない大切な仲間『寺中丸』のもと集団への所属感、連帯感や愛校心の醸成に努め、生徒の主体性を重視した活動を実施することで、生徒が「自己有用感」「達成感」を味わえる教育活動を展開する。
- (5) 生徒と教職員の良好な信頼関係を基盤に、友達の個性や特性を互いに認め合う温かな雰囲気を学校全体に醸成することで、いじめのない安心して生活できる学校づくりを行う。
- (6) 地域の実態に応じた寺尾地域ならではの小中一貫教育をより一層推進する。
- (7) 学校運営協議会制度や学校評価等を活用し、教職員の参画意識も高めながら、組織的・継続的な学校経営の改善に努める。
- (8) 危機意識を高め、教職員の不祥事を根絶するとともに、真摯に教育に向き合う教師集団をつくり、生徒・家庭・地域から信頼される教職員を目指す。

本年度の努力点

☆ 小規模校の特性を生かした教育活動の推進

- ◆一人一人に寄り添う学習指導、生徒指導を継続する。
- ◆小規模校の特性を強みととらえた教育活動を積極的に展開する。
- ◆生徒の主体性を重視した活動を実施し、「自己有用感」「達成感」を味わえる教育活動を展開する。

☆ 地域との連携の推進

- ◆「地域と共に歩む学校づくり」及び地域・家庭・学校が一体となった教育を推進する。
- ◆地域の教育力を存分に生かした教育活動を展開する（とちぎ未来アシストネット）
- ◆地域行事への積極的参加・協力、保護者・地域への積極的な発信を心がける。

☆ 主体的に学習に取り組み、生き生きと自己表現する生徒の育成

- ◆グローバル教育プログラムの作成及び実践研究に取り組み、生徒が多面的・多角的な視点から物事を捉えて客観的に判断できる思考力・判断力の育成を図る。
- ◆昨年度までの教育実践の成果を活かして、生徒の表現力の更なる向上を図る。

本年度の努力点を達成するための取組

1 自ら考え学習する生徒

○学習指導要領の主旨を踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能の定着、思考力・判断力・表現力及び主体的に学ぶ態度の育成を目指し学力の向上を図る。

- ア UDの視点を意識し「分かって楽しい授業」の実践を心がけ、生徒の学習意欲の向上に努めるとともに、「学び合い」を取り入れた授業を実践することで、学校課題である「生き生きと自己表現できる生徒の育成」を目指す。
- イ 授業における生徒のICT活用を含め学習活動を工夫し、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る。
- イ 個に応じた一人一人に寄り添う学習指導・学習支援を工夫し、基礎学力の向上を図る。
- ウ 授業研究会を通して、同僚性を高めながらの授業力の向上を図る。
- エ 学校支援ボランティアと協働し、地域の教育力を生かした諸活動を実践する。（とちぎ未来アシストネット）

2 心身ともに健康な生徒

○健康でたくましい体と心の育成を図る。

- ア 家庭との連携を図りながら、基本的生活習慣の定着と本校学区の健康課題解決に向けた取組を継続する。（小中合同のノーメディアデーや睡眠改善ウィークの実施等）
- イ 教科体育や部活動を通して体力づくり、心づくり、仲間づくりを推進する。
- ウ 感染症予防のための正しい知識を身につけさせ、日常生活において予防のための正しい行動を自ら取れる生徒を育成する。
- エ 命の安全を守るための交通安全教育及び防災教育の推進を図る。

3 情操豊かな生徒

○人権が尊重され、活力ある温かい雰囲気のある学校、学級づくりに努める。

- ア 『寺中丸』の精神を学校全体に浸透させ、集団への所属感、連帯感や愛校心の醸成に努め、生徒一人ひとりに寄り添う姿勢を教育活動の基盤とする。
- イ 生徒理解に努めるとともに家庭と適切に連絡を取り合いながら、生徒・保護者から信頼される人間関係を構築する。
- ウ 全教育活動を通して互いの個性や特性を認め合う心を育て、いじめのない安心して自己表現できる人間関係づくりを図る。
- エ 生徒主体の創意工夫ある生徒会活動を推進し、自主的・自律的な態度の育成を図る。
- オ 道徳の時間の充実を目指し、話し合い活動を重視した授業を実施する。
- カ 地域の方を招いての授業や地域行事、小学校との交流活動等に積極的に参加することにより、地域社会と自分との関わりに気付かせ、地域を愛する心を育てる。